



39年ぶり
登別で熱き戦い
新日本プロレス登別大会

9/14

9月14日総合体育館で、新日本プロレス北海道ツアアの皮切りとなる登別大会が開催され、会場には超満員1255人のプロレスファンたちが集結。登別での開催は1985年以来39年ぶりであって入口には開場を待ちわびたファンが長蛇の列を作りました。

第1試合は、登別市観光大使の矢野通選手とレジエンドレスラー桜庭和志選手のタッグマッチ。今年6月にデビューしたばかりのヤングライオンタッグに快勝し、貫禄を見せつけました。

第2試合は、1分ごとに選手が登場し、残った最後の1人が勝者となるバトルロイヤル。登別市議の斗猛矢選手や、2019年に引退した室蘭市出身の飯塚高史選手ら総勢20選手が出場し、激しい場外乱闘も交えた展開に、会場の熱気がさらに高まりました。

メインイベントとなるタイトルマッチの第5試合、無差別級6人タッグ選手権では、17分間にわたる奮闘の末、矢野選手、棚橋弘至選手ら王者チームが見事初防衛に成功。王者のベルトを受け取った矢野選手は「登別、室蘭、北海道以外の方も、みんなまたここに集結しろよ!」と呼びかけ、会場は大きな拍手と歓声で包まれました。



▲地域の課題を話し合う参加者と市職員

僕も私もミニ消防士
2024消防・救急フェスティバル

10/5

10月5日、市消防本部は2024消防・救急フェスティバルをイオン登別店の駐車場で開催しました。

消防業務への理解や防火・防災意識の向上を目的に開催したこのイベントには約2千人が来場し、展示されたポンプ車や令和5年度に導入の屈折はしご車、救急車などを間近で見学し、記念撮影をする様子が見られたほか、子どもを対象としたミニレスキュー（ロープ渡過）体験、消防車や水消火器での消火体験には、多くの子どもたちが順番待ちの列を作り、未来の消防士たちが何度も挑戦する姿も見られました。



▲ホースでの消火に挑戦する未来の消防士

市民と膝を交えてまちづくりを議論
令和6年度地区懇談会

9/30~

令和6年度の地区懇談会（市主催）は9月30日、ヌプルでの開催を皮切りに市内10カ所で行われています。

初日の主に登別地区の住民を対象とした懇談会には約20人が参加し、市から登別駅前、国道36号間の道路のバリアフリー化や無電柱化についてなど8件の情報提供をしたほか、地区連合町内会から提出された地区の共通課題について、参加者と市職員が意見や提案などを交え議論しました。

11月は、11日（月）の富久寿園など4カ所でも実施します。詳細は市公式ウェブサイトや広報のぼりべつ10月号でご確認ください。